

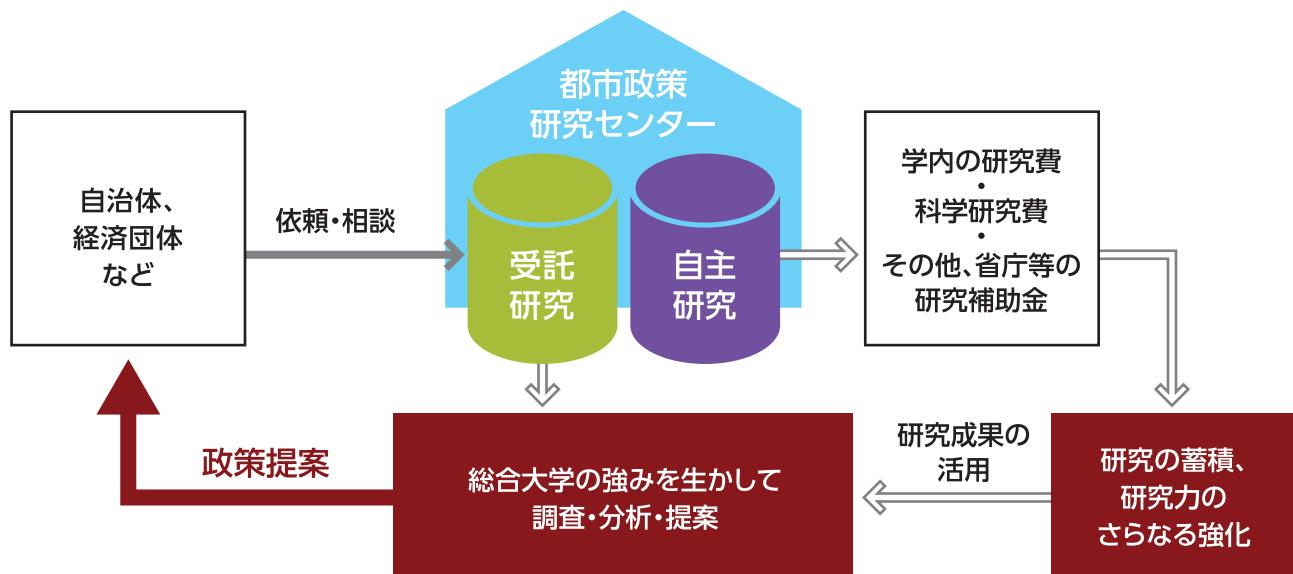
都市政策 @ 名市大

データで紡ぐ サステイナブルな未来都市

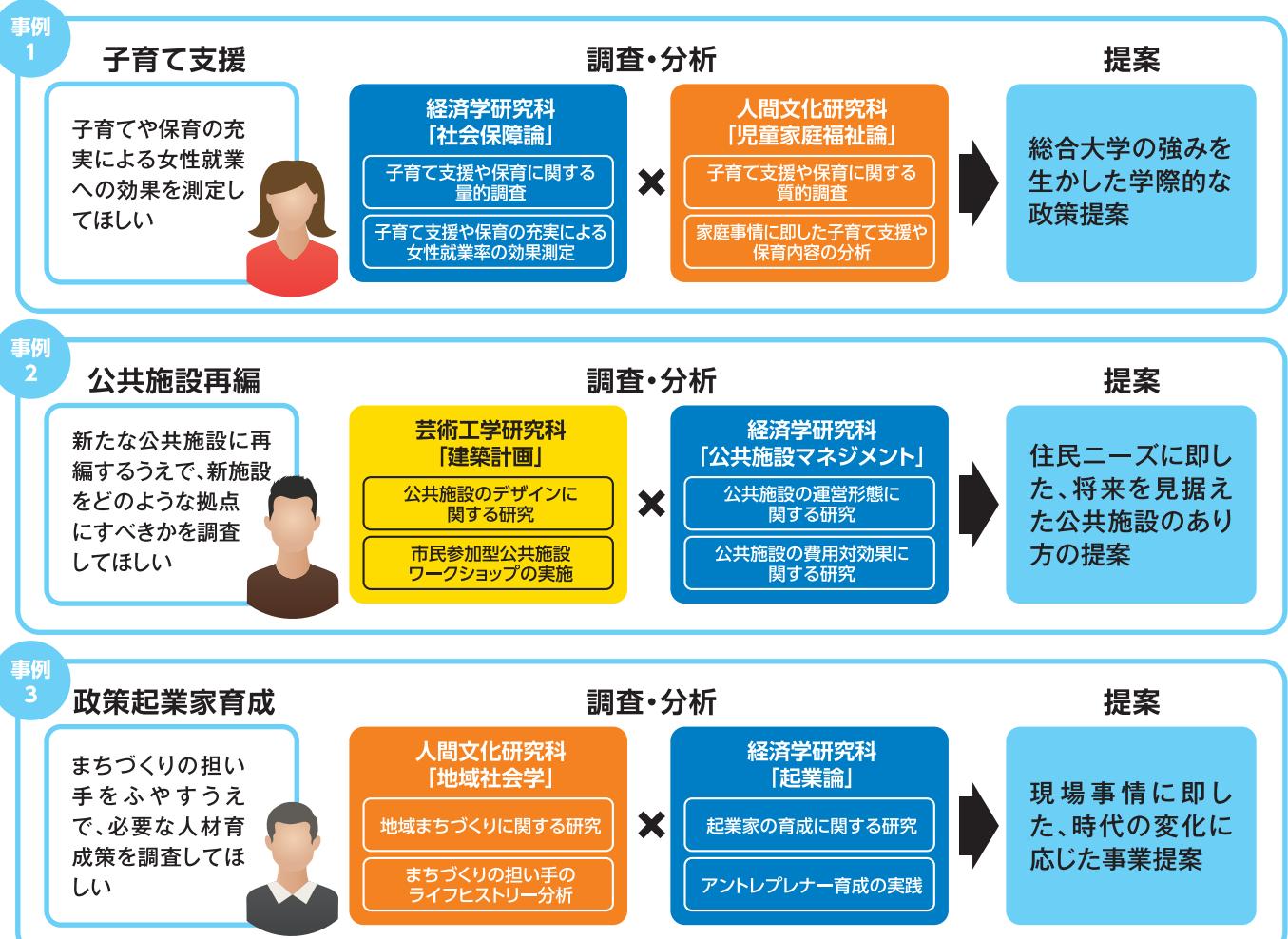


都市政策研究センターの主な事業

都市政策研究センターでは、主にシンクタンクの機能となる「受託研究」と、センター独自の「自主研究」の2本柱で運営を行います。



■ 自主研究・受託研究の例



全学的な共同研究体制のもと、 名古屋大都市圏が抱える地域課題に対して、 解決に寄与する調査・分析・提案を進めます。



名古屋市立大学
理事長

郡 健二郎

本学では、長期的な指針として『名市大未来プラン2021』を策定いたしました。本プランの社会貢献では、名古屋大都市圏が抱える地域課題の解決に寄与するとともにシンクタンク機能を強化することを掲げております。

これまで全学を挙げて、地域貢献活動に取り組み、高い評価をいただいております。当センターにおきましても、研究力や知見等を活用し、名古屋市をはじめとする都市課題の解決に貢献してまいります。

引き続きご支援をお願い申し上げます。



名古屋市立大学
学長

浅井 清文

当センターの運営にあたり、多大なるご理解とご協力を賜り、本学を代表して深く感謝申し上げます。

当センターは、本学の有する資源を活用し、行政、企業その他各種団体が有する都市の様々な問題の研究、調査又は分析を通して、地域に貢献していくことを目的として設立しました。今後も文系学部を中心に領域を超えた研究成果の発信、また人材育成に取り組んでまいります。

みなさまのご支援をお願い申し上げます。



名古屋市立大学
都市政策研究センター
センター長

三宅 勝

名古屋市をはじめ、東海地域はさまざまな課題を抱えています。当センターは、その課題の解決に寄与するため、健康・医療・福祉の向上、子どもの育成支援、産業の振興などの分野で、総合大学としての調査力・分析力・提案力を活かして、行政、企業などと幅広く連携・協働していきます。

さらに、将来的には大学院や学部の教育におきまして、都市政策に関わる専門的な人材を育成していくことも展望しています。みなさまの、ご支援・ご協力をお願いいたします。



多様な要請にも対応可能な研究シーズ

総合大学の強みを生かし、文系学部を中心とする全学横断的な調査研究体制のもとで、多様な要請にも対応できる研究シーズを備えています。



地方税収の将来推計 (自治体の財政)

今後の人口の減少が、将来の自治体財政に対して与える影響を考察します

公民連携の効果検証 (自治体の経営)

各種の公民連携が、自治体運営のパフォーマンスに与える効果を検証します

産業集積の生産性分析 (地域の経済)

産業の集積が、域内に立地する事業所の生産性に与える影響を分析します

リニアインパクトの検証 (都市の開発)

リニア中央新幹線の開通が、今後の都市開発に与える影響について検証します

地域コミュニティの運営改善 (地域の再生)

地域コミュニティの持続可能性の向上に寄与する運営改善策を提案します

多文化共生の政策分析 (自治体の国際化)

多文化共生に関する政策が、地域社会や外国籍住民に与える影響を分析します

災害レジリエントな街づくり (地域の減災)

老朽化した木造密集市街地の火災安全性を向上させるための計画を提案します

ゼロエネルギーコミュニティの形成 (地域の環境)

省エネと創エネによる環境にやさしいコミュニティづくりの方策を提案します

最先端の学術研究を通じた数多くの研究蓄積

都市政策研究センターに携わる教員は、それぞれの学問分野で最先端の研究に取り組み、数々の成果を上げています。こうした蓄積を生かし、調査・分析・提案を進めます。



転換期・名古屋の都市公共政策 リニア到来と大都市の未来像

著者名:伊藤 恭彦、小林 直三、三浦 哲司／出版社名:ミネルヴァ書房

本書は、都市公共政策について学ぼうとする人たちに向けた教科書であるのと同時に、名古屋市立大学都市政策研究センターに関わりをもつ者たちによる学際的共同研究の成果としての研究書でもある。これまで東京や大阪に関しては多くの都市研究の蓄積があったが、それらに比べると、名古屋に関する研究は多くない。そのことを踏まえて、本書は、大都市名古屋の都市研究に資するために、名古屋にこだわった内容となっている。

講演会や研修会の講師・ ファシリテーターで豊富な実績

都市政策研究センターに携わる教員は、講演会や研修会の豊富な講師経験があります。また、各種ワークショップの企画・運営でも数々の実績を持っています。調査や研究以外でも、講演会や研修会の講師、ワークショップのファシリテーター派遣、学生を交えたワークショップの開催、などの依頼・要請にも対応可能です。

これまでの実績

- 総合計画の策定に向けたWG会議でのファシリテーター（名古屋市総務局企画部企画課）
- 地域コミュニティ活性化市町村会議での講師・ファシリテーター（愛知県振興部地域政策課）
- 地域担当職員制度に関する研修講師（愛知県半田市）

他多数



身近なところでも幅広く 社会貢献・地域貢献

都市政策研究センターに携わる教員は、高い専門性を活かして幅広い社会貢献・地域貢献を進めています。名古屋市営地下鉄のオリジナルメロディーの作曲をはじめ、身近な暮らしのなかにも、実は教員の活躍の一端があります。



大学院「都市政策コース」との連携

2020年4月から、人間文化研究科では新しい「都市政策コース」が始まりました。このコースでは、当センターと連携することで、都市政策に関する基礎理論から実践的な研究まで、幅広く学ぶことができます。また、当センターと連携したプログラムを単位化し、実践力を養っていきます。





Center for Urban Policy Research and Education

名古屋市立大学都市政策研究センター

滝子(山の畑)キャンパス

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畠1番地

MAIL:cupre@sec.nagoya-cu.ac.jp

TEL:052-872-3527